

～ エンターテインメントの火を絶やさない～

ドライブインシアターの実現に向けて

『Drive in Theater 2020』クラウドファンディング開始

新型コロナウイルス感染予防の意識を高め

カルチャーの活性化へつながる象徴的エンターテインメントへ

新型コロナウイルス対策活動基金とミニシアター支援基金へのドネーションアイテムも展開



シアタープロデュースチーム「Do it Theater（ドゥイット・シアター）」（運営会社：株式会社ハッチ／所在地：東京都目黒区中目黒）は、2020年4月10日（金）より、ドライブインシアターの実現を目指す『ドライブインシアター2020（Drive in Theater 2020）』プロジェクトのクラウドファンディングを開始いたします。

クラウドファンディングページ

<https://motion-gallery.net/projects/driveintheater2020>

『ドライブインシアター2020』は、新型コロナウイルス感染予防の啓発と映画をはじめとするカルチャーの活性化を目的としています。クラウドファンディング・プラットフォーム「MOTION GALLERY」を利用して、まずはドライブインシアターの実施と中長期的な継続を目的に支援を募ります。また、リターンの1つとしてドネーションアイテムも用意し、まずカルチャーの1つであるミニシアター支援を行うクラウドファンディング「ミニシアター・エイド基金」と、世界保健機関（WHO）および国連財団による「COVID-19連帯対応基金」に対して寄付をいたします。なお、開催日・上映作品・参加方法・諸注意などについては、昨今の社会の状況に応じて、後日あらためて同クラウドファンディングページ上で追加ご連絡します。

ドライブインシアターというエンターテインメント

ドライブインシアターとは

巨大な駐車場にスクリーンを配置し、車に乗ったままカーステレオから音を出し、映画が鑑賞できる映画上映施設です。アメリカ発祥のこの鑑賞スタイルは1950年～60年にブームとなり、子ども連れの家族レジャーや、若者たちのデートとして人気を博しました。日本でも90年代に流行し、多くの人々を魅了しましたが、2010年に大磯ロングビーチのドライブインシアターが閉館となって以来、2020年現在国内で体験する方法がほぼありません。多くの映画や映像の中で、ドライブインシアターがモチーフとして登場するため、日本の映画ファンからもその復活を期待されている上映形態です。

いま求められるドライブインシアターの形

新型コロナウイルスが猛威をふるい、日本以上に自粛や休業が相次ぐ海外において、ドライブインシアターが、安全に映画に触れられる方法として再注目されています。屋外で実施し、車内での鑑賞をするため、不特定多数の他者との近距離接触をしないことが評価され、特に息抜きが必要な子ども連れのファミリー層に人気です。こんな状況だからこそ、不安な世の中を少しでも明るく照らせる体験を、私たちDo it Theaterらしくご提供していきたいと考えています。



『ドライブインシアター2020』の特徴

1. 新しいエンターテインメントシステムの提案によりカルチャーの活性化につなげる。

自粛を余儀なくされている状況において、安全性高く映画体験を提供できるドライブインシアター。同時に、今は日本になくなってしまった文化体験への新しいアプローチでもあり、SNS上などで多くの人の支持を得ています。このシステムを使い、映画をはじめとする、音楽などの文化活動への展開も視野に活動します。

2. 新型コロナウイルス感染予防の知識やソーシャルディスタンスの重要性の意識を高める啓発キャンペーンの1つである。

この取り組みを用いて、特にソーシャルディスタンスの重要性をメッセージとして発信。会場でも予防のための啓発ムービーを放映するなど、感染予防の意識を高めていきます。

3. 寄付を通じて新型コロナウイルス対策活動およびエンタメ業界の支援につなげる。

自粛を余儀なくされているエンターテインメント業界をチアアップします。クラウドファンディングでは、今回は特に苦境を強いられているミニシアターを応援するためのドネーション施策も同時に展開。映画のみならず、カルチャー全体の賛同を得ながらエンタメ業界へ貢献していきます。

クラウドファンディングの資金の使い方

クラウドファンディング・プラットフォーム「MOTION GALLERY」を通じてご支援頂いた資金の使い道は、「『ドライブインシアター2020』プロジェクトの中長期的な継続」と「新型コロナウイルス対策活動基金およびミニシアター支援基金への寄付」の2つの用途に活用いたします。

ドライブインシアターを実施するには、スクリーンの設営、各種機材のレンタル、上映に関わるプロフェッショナルの参加、安全確保のための人員配置、上映作品レンタル費用、土地の使用料、さらに今回は新型コロナウイルスの対策費用などを含め、多額の資金が必要です。

現在、映画業界をはじめ、あらゆるエンターテインメントを楽しめる場が一時的に閉鎖され、今後の状況によっては消滅してしまう場も増えてくる可能性があります。このプロジェクトを継続し、全国各地の少しでも多くの人々にエンターテインメントを届けるために、現在ご用意している応援リターンと、今後追加予定の応援リターンでご支援いただいた金額は、今後の『ドライブインシアター2020』の実施・運営費用として利用させていただきます。

そして、『ドライブインシアター2020』オリジナルのドネーションアイテムを制作します。映画を始めとする音楽や演劇などのエンターテインメント業界への支援と、世界の新型コロナウイルス対策活動への支援をすべく、アイテムの原価・梱包費・送料を差し引いた金額を各寄付先へ振り分けて寄付させていただきます。なお、チケットご購入によっても、その代金の一部が寄付となります。

第1回 寄付予定先情報

SAVE THE CINEMA の活動の一環であるミニシアター支援を行うクラウドファンディング「ミニシアター・エイド (Mini Theater Aid) 基金」

<https://minitheater-aid.org>

世界保健機関 (WHO) および国連財団による「COVID-19連帯対応基金 (COVID-19 Response Fund)」

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/donate>

具体的なリターン内容については、クラウドファンディングページをご覧ください。



DiT2020 オリジナルTシャツ

プロジェクトに賛同していただいた、映画監督、アーティスト、文化人らの手書きサインをレイアウトしたオリジナルTシャツ



DiT2020 オリジナルステッカー

映画チケットをイメージした『ドライブインシアター2020』オリジナルデザインのステッカーセット

安全面の配慮

ドライブインシアターの開催にあたり、来場者とスタッフ・関係者の安全を最重要視いたします。医療関係者のアドバイスの元、新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、感染予防と拡大防止のための対策を実施いたします。今後の状況変化に伴う対策、追加の感染予防対策などについては決定・確認ができ次第、すみやかにクラウドファンディングページおよび、公式WEBサイト、公式SNSにてお知らせいたします。

今後の状況変化に伴い、延期・中止の可能性もございます。その場合は、すみやかに公式WEBサイトにて対応方法をお知らせいたします。そして、参加条件においても、安全・対策を考慮したルール・制限を設けさせていただくこととなります。あらかじめご了承・ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

当イベントでは、今後も同様のイベントを継続的に開催できるようにするために、イベントに参加される来場者とスタッフ・関係者の安全に配慮し運営して参りますので、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

『ドライブインシアター2020』第1回 開催概要

タイトル：Do it Theater presents Drive in Theater 2020

開催日時：2020年5月以降開催予定

会場：大磯ロングビーチ第一駐車場

参加方法：4月下旬に開催情報とともに「MOTION GALLERY」にて更新発表

主催：Do it Theater（株式会社ハッチ）

※昨今の社会の状況に応じて、開催時期などについて変更が発生する場合がございます。

※医療観点からの監修・アドバイスを踏まえて企画してまいります。

※実施日・上映作品・参加方法・諸注意などについては、同クラウドファンディングページ上で追加でご連絡させていただきます。

応援者様・企業様・パートナーを広く募ります

『ドライブインシアター2020』は、すでに全国各地からの開催要望・お問い合わせをいただいております。今後、Do it Theaterは、このプロジェクトを中長期的かつ全国へのムーブメントにすべく、様々なパートナーと協力しながら推進していきたいと考えています。映画だけでなく、音楽や演劇など、新しい体験へも展開すべく、ご賛同・ご協力いただける方々・団体様・企業様からのお声かけをお待ち申し上げます。

Do it Theater について

Do it Theaterは「新しいシーンは、シアターからはじまる」をスローガンに、これまでにない最高のシアター体験を提供することを掲げたシアタープロデュースチームです。シアターを“意思を持つ人々が集う、新しいコミュニケーション空間”と捉え、これまでの概念にとらわれない、シアターやカルチャーの創造を目指しています。

2014年秋に『ドライブインシアター 浜松』で、日本におけるドライブインシアター復活を手がけて以来、『ドライブインシアター 相模湖』、『MINI ドライブインシアター』、『Suchmos Drive in Theater』、Amazon Prime Videoオリジナルコンテンツ『バachelor・ジャパン』でのドライブインシアターデートなど、国内の数々のドライブインシアターを作り上げてきました。

そして、2020年。世界が不安に包まれている今、世の中に安全に笑顔を届けることができないか。チームで検討し、ドライブインシアターを中心としたカルチャー全体を巻き込む大きなコミュニケーションを生み出していきたいと考えています。

公式WEBサイト：<https://www.ditjapan.com/>

プロジェクトページ：<https://www.ditjapan.com/issue/1084>

公式SNS：Twitter：<https://twitter.com/doittheater>

Instagram：<https://www.instagram.com/doittheater>

Facebook：<https://www.facebook.com/doittheater/>



クラウドファンディングページ：<https://motion-gallery.net/projects/driveintheater2020>

今こそ、ドライブインシアターをつくろう。

私たちが今、不安の渦の中に生きています。
でもだからこそ、力を合わせて突っ立つことを諦めてはいけません。
そんな思いを込めて、Do it Theater はドライブインシアターをつくる決意表明をします。

いつの時代も映画や音楽は、困難を笑い飛ばしてきました。
制約や苦難を、サプライズや感動に変えられるのが、エンターテインメントの能力だと思えます。
だからこそ私たちに、今の時代の新しいエンタメ体験が必要だと感じています。

もちろん感染拡大防止は、最大限配慮する。
でも、その制約こそが、新しい試みを生み出すチャンスだと思えます。
車内で鑑賞することで、ソーシャルディスタンスを確保し、
映画を楽しむドライブインシアター。
古き良き知恵を踏襲した、今の時代にぴったりの最新のシアターシステムです。

ドライブインシアターを日本に復活させて6年。
Do it Theater は様々なオリジナルシアターをつくってきました。
そこでは、シアターに集まる人たちの思いから、
大きなコミュニケーションやカルチャーが生み出されると感じました。
だから今こそ、ドライブインシアターをみんなの手でつくりたい。
そしてこの取り組みで、意気消沈している社会やエンタメ業界に、
ほんのわずかも光を当てればと考えています。

目標は、5月に首都圏での開催から始めたいと思えます。
そして今、そのためのクラウドファンディングを準備しています。

カルチャーは、その時代の空気を感じて、人々の手によって生み出されるから。
私たちの時代の楽しみ方は、私たちがつくる。
今こそ、ドライブインシアターと一緒にしませんか。

Do it Theater presents
**Drive
in
Theater
2020**

THE NEW SCENE STARTS
Do it Theater
FROM THE THEATER

本件に関する問合せ先

『ドライブインシアター2020』 広報 (村山・外山)
driveintheater2020_pr@ditjapan.com